

⑫ 思いを形にして 生活を豊かに  目的に合った形や大きさ、ぬい方を考えよう

学習のめあて 目的に合ったふくろなどを製作するために必要なポイントを考えよう。

活動1 **考えよう**

1 身の回りにある、生活に役立っている布製品を調べてみましょう。布製品のよいところほどのようなところでしょうか。

布製品の名前	布の種類 (織物・編物など)	形や大きさ (絵で表してもよい)	よいところ
エプロン	綿の織物	自分の体に合っている。	洗濯しても強い。
体操着入れ	綿の織物	きんちゃく型で使いやすい。	ひもがついていて持ち運びに便利。 自分の好きな色の布が使われている。
電子黒板カバー	綿の織物	電子黒板をカバーする。	ほこりよけになっている。

活動2 **やってみよう**

作りたい物を決めましょう。イメージして、図に表してみましょう。

だれのために作るか。 自分, 家族, 弟や妹	(自分) の (学校用トートバッグ) のイメージ図
いつ使うか。 学校に持っていく。	
何を入れるか。 きんちゃくぶくろ, 道具箱入れ	
工夫するところはどこか。 <ul style="list-style-type: none"> ・好みの色や模様の布を選ぶ。 ・何度洗っても丈夫な布を選ぶ。 ・たくさんの物が入る。 ・使わなくなった服を使って、リメイクに挑戦する。 	



アイデアがたくさん見つけれられるかな。

ふり返ろう ◎ ○ ▲

目的に合った布作品を製作するために、必要なポイントを考えることができましたか。

【気づいたこと・考えたことなど】

布で作ったものにはたくさんの種類があることが分かりました。

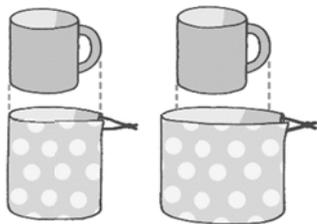
自分のためのトートバッグを作ることにしたが、大切に使うためには布選びや大きさなど考えなくてはいけないことがたくさんあることが分かりました。友達の作品を参考にしながら、工夫をしていきたいと思えます。

⑫ 思いを形にして 生活を豊かに ステップ 計画を立てて、工夫して作ろう

学習のめあて 目的に合った布作品の製作計画を立て、安全に製作しよう。

活動3 話し合おう

1 身近にあるふくろなどを観察して、入れている物とふくろの大きさの関係を調べましょう。



- ① 入れる物と同じ大きさだと……
入れたり出したりすることが難しい。
ふくろが破れてしまう。
- ② 大きすぎると……
ほかにもいろいろと入れてしまいそう。
中で、入れた物が動いてしまって、こわれるかもしれない。

2 ゆとりについて、話し合ひましょう。

友達の考え
<ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりがないと、出し入れしにくい。 ・ゆとりがないと、入れるときにふくろが破れる。 ・大きすぎると、ふくろだけを持って歩く感じがする。

3 布の大きさの決め方をまとめましょう。

- ① (入れたい物やおおいたい物) の大きさを測る。
- ② 測った大きさに (ゆとり) を加え、
できあがりの大きさを決める。
- ③ できあがりの大きさに紙を切り、(型紙) を作る。
- ④ 型紙を布にのせる。
- ⑤ 型紙に (ぬいしろ) 分を加え、布の大きさを決める。

4 布の大きさを決め、材料を準備しましょう。

必要な布の大きさ (図もかこう)	その他の材料
<ul style="list-style-type: none"> ・布 (綿) たて 66cm × よこ 41cm ・ポケット用 たて 19cm × よこ 23cm <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・平ひも 40cm × 2本 ・ミシン糸 ・しつけ糸

ふり返ろう



目的に合った布作品を作るための布の大きさの決め方が分かりましたか。

【気づいたこと・考えたことなど】

入れたいものと同じ大きさの布だと、ゆとりがなく出し入れがしにくいことが分かりました。
型紙を作ってから布の大きさを決めると、失敗しないと思いました。
布の大きさを決めるときには、ぬいしろ分もあわせて考えなければならないことが分かりました。

⑫ 思いを形にして 生活を豊かに ゆた ステップ 計画を立てて、工夫して作ろう くふう

学習のめあて 目的に合った布作品の製作計画を立て、安全に製作しよう。

活動4 やってみよう

1 だれのために、何を作るか、^{たし}確かめましょう。

だれのために	自分、家族、弟や妹	完成予想図
何を作る	トートバッグ、きんちゃくぶくろ	
こだわりポイント	厚手の布を選ぶ。 持ち手を丈夫にぬい付ける。 まちを付ける。 ポケットを付ける。	

製作予定時間 (6) 時間

2 実習カードに記録しましょう。 よくできた◎ できた○ もう少し△

	製作の手順	終わった日	ふり返り	できたかな	ひょうか 評価
計画	①形や大きさを考えて計画を立てる。		ゆとりとぬいしろの分量を考えた。	・形や大きさが目的に合っている。	
製作	②しるしを付け、布をたつ。		布の目に沿ってまっすぐに切ることが難しかった。	・ぬいしろをとってしるしを付けた。	
	③ポケットを付け、わきをぬう。		ポケットの位置を、型紙を使って考えた。	・まっすぐに布をたたえた。	
	④出し入れ口をぬう。		三つ折りにしてぬわなければいけない理由が分かった。	・まち針など、道具を正しく使えた。	
	⑤持ち手を付ける。		取れないように何度もぬい付けた。	・ぬい目の大きさを考え、丈夫にぬえた。	
	⑥糸を始末し、アイロンをかけて仕上げる。		糸の始末をするのが大変だった。	・布はしの始末がきれいになった。	
発表会	⑦作品発表会をする。		友達がたくさん工夫して作っていた。	・友達の作品のよさを見つけられた。	

ふり返ろう

◎ ○ △

目的に合った布作品の製作計画を立てることができましたか。

【気づいたこと・考えたことなど】

トートバッグを作る計画を立てました。作業の手順を考えることで、見通しを立てて作業ができると思いました。分からないときには、先生や友達に聞いて、楽しく作業をしたいと思います。

⑫思いを形にして 生活を豊かに

計画を立てて、工夫して作ろう

実習 トートバッグ

学習のめあて

目的に合った布作品の製作計画を立て、安全に製作しよう。

活動4 やってみよう

布作品の製作計画を立て、工程が終わるごとに、感想と、□には（よくできた◎・できた○・もう少し△）を付けましょう。

1 計画・準備する

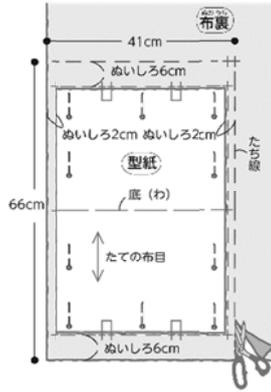
2 製作する

- ①目的に応じた大きさを決め、材料や分量を確かめる。
- ②材料や用具を準備する。



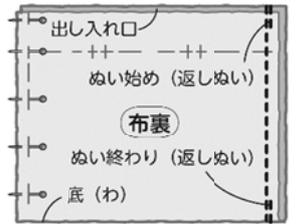
1 しるしを付けて、布をたつ

- ①チャコえんぴつで布にしるしを付ける。
- ②外側のしるしに沿って、たちばさみで布をたつ。



2 わきをぬう

- ①たつた布の底（わ）で中表（布の表を内側）に二つ折りにする。
- ②左右のわきのしるしに沿ってぬう。



③わきのぬいしろを折る。



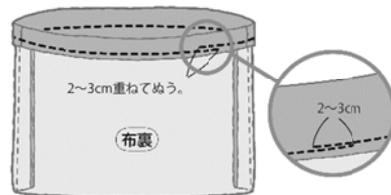
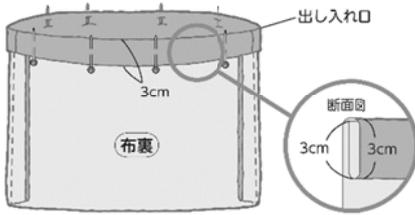
感想
ノートを入れようと思う。

感想
ゆとりとぬいしろの分量を考えた。まっすぐ布を切るのは難しい。

感想
返しぬいをするのはなぜか、どのようにするのかを友達に聞いた。

3 出し入れ口をぬう

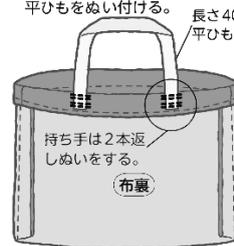
- ①出し入れ口を三つ折りにして、まち針でとめる。
- ②ぬう*。ぬい始めとぬい終わりは2~3cm重ねてぬう。
*ぬう前にしつけをかける場合もある。



感想
出し入れ口をぬうのが難しかった。返しぬいはうまくできた。

4 持ち手を付ける

- ①持ち手を付ける位置を確かめて、平ひもをぬい付ける。長さ40cmの平ひも



感想
持ち手をしっかりと付けられた。

ふり返ろう

◎ ○ △

目的に合った布作品の製作計画を立て、安全に製作できましたか。

【気づいたこと・考えたことなど】

一つ一つの作業をていねいに行うことができました。出し入れ口をぬうときには、しつけをかけてからミシンをかけたので、安心してできました。

⑫思いを形にして 生活を豊かに

計画を立てて、工夫して作ろう

実習 クッションカバー

学習のめあて

目的に合った布作品の製作計画を立て、安全に製作しよう。

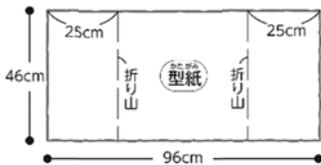
活動4 やってみよう

布作品の製作計画を立て、工程が終わるごとに、感想と、□には(よくできた◎・できた○・もう少し△)を付けましょう。

1 計画・準備する

- ①目的に応じた大きさを決め、材料や分量を確かめる。
- ②材料や用具を準備する。

季節に合わせて、布の色や素材を変えてみよう。



感想

クッションがやわらかく、大きさを測るのが難しかった。

□

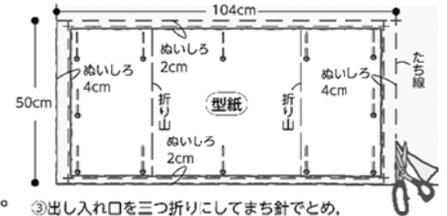
2 製作する

- 1 しるしを付けて、布をたつ
- ①チャコえんぴつで布にしるしを付ける。
- ②外側のしるしに沿って、たちばさみで布をたつ。

感想

ふくろのときと比べ、ゆとりの分量を考えなくてよかった。

□



- ③出し入れ口を三つ折りにしてまち針でとめ、ぬう*。*ぬう前につけをかける場合もある。2cm

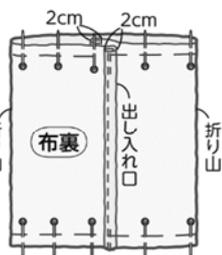


ボタンを付ける工夫もできるね。

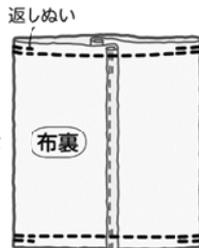


2 しるしを合わせてぬう

- ①折り山で折って上下のしるしを合わせ、まち針でとめる。4cmずつ重ねる。



- ②上下のしるしをぬう*。



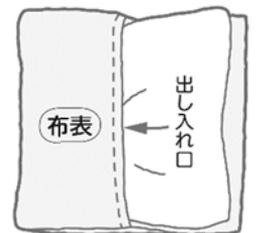
感想

4cm ずつ重ねてぬうのはなぜか、作りながら考えた。

□

3 仕上げる

- 表に返してアイロンをかけ、クッションを入れる。



感想

ボタン付けをした。クッションをつぶして入れると、ぴったりだった。

□

ふり返ろう

◎ ○ △

目的に合った布作品の製作計画を立て、安全に製作できましたか。

【気づいたこと・考えたことなど】

ふくろのときとちがって、ゆとりの分量を考えなくてもよかったので、型紙の作り方がかんたんでした。重ねてぬわなければいけない理由がなかなか分からなかったが、友達に聞いてよく分かりました。布の選び方で、季節を感じる事ができるのがふしぎでした。

⑫ 思いを形にして 生活を豊かに (2) 計画を立てて、工夫して作ろう

実習 きんちゃく

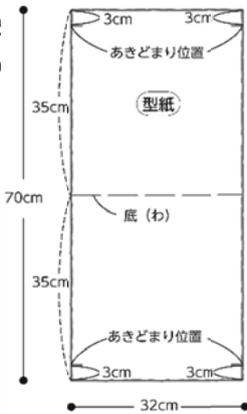
学習のめあて 目的に合った布作品の製作計画を立て、安全に製作しよう。

活動4 やってみよう

布作品の製作計画を立て、工程が終わるごとに、感想と、□には(よくできた◎・できた○・もう少し△)を付けましょう。

1 計画・準備する

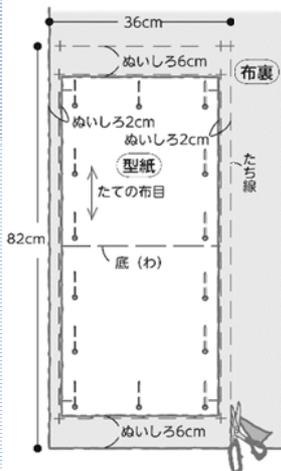
- ①目的に応じた大きさを決め、材料や分量を確かめる。
- ②材料や用具を準備する。



感想
お気に入りの体操服
入れができそう。

2 製作する

- 1 しるしを付けて、布をたつ
- ①チャコえんぴつで布にしるしを付ける。
- ②外側のしるしに沿って、たちばさみで布をたつ。



- 2 わきをぬう
 - ①底(わ)で中表に二つ折りにする。
 - ②左右のわきのしるしを合わせて、あきどまり*からぬう。
- *あきどまり: ぬい合わせた所とぬっていない所の境目

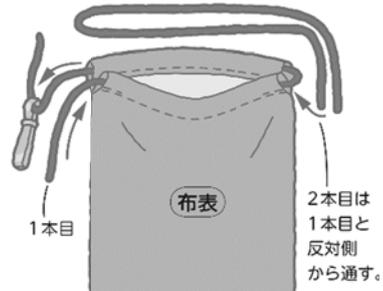
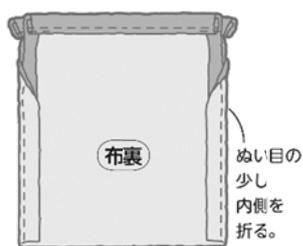
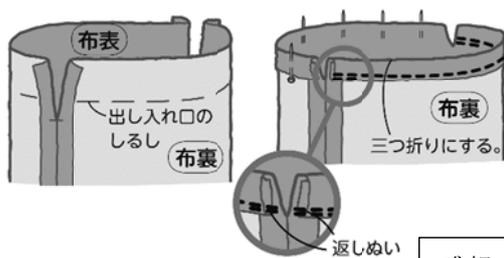


感想
ゆとりとぬいしろの分量を考えた。まっすぐ布を切るのは難しい。

感想
返しぬいをするのは、なぜか、どのようにするのかを友達に聞いた。

3 出し入れ口をぬい、表に返し、ひもを通す

- ①わきのぬいしろを開く。
- ②出し入れ口を三つ折りにしてまち針でとめ、ぬう*。表に返す。
*ぬう前にしつけをかける場合もある。
- ③わきのぬいしろを折って
- ④ひもを通して、ひもの先を結ぶ。



ナップザックの形にすることもできるよ。

感想
ひも通しの出し入れ口をぬうのが難しかった。返しぬいはうまくできた。また、ひもを通す方向をまちがえそうだった。反対側から通さないときんちゃくにならなかった。

ふり返ろう

◎ ○ △

目的に合った布作品の製作計画を立て、安全に製作できましたか。

【気づいたこと・考えたことなど】

一つ一つの作業をていねいにすることができました。出し入れ口をぬうときに、しつけぬいをしてからミシンがけをしたので、安心してできました。

友達が平ひもをはさんでぬって、ナップザックにしていました。次は、ナップザックを作りたいと思います。

⑫ 思いを形にして 生活を豊かに

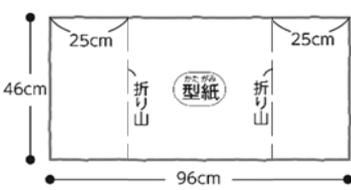


計画を立てて、工夫して作ろう 実習製作

学習のめあて 目的に合った布作品の製作計画を立て、安全に製作しよう。

活動4 やってみよう

作品名 (クッションカバー)

計画	用具	できあがり図
<p>大きさ</p>  <p>材料 布, ミシン糸, しつけ糸</p>  <p>季節に合わせて布の色や素材を変えてみよう。</p>	<p>ものさし, チャコえんぴつ, たちばさみ, 糸切りばさみ, まち針, 手ぬい針, 針さし, ミシン, アイロン</p>	<p>できあがり図</p>
<p>しるしを付けて布をたつ</p>	<p>ぬう ※イラストなどをかいてもよい。</p>	
<p>① チャコえんぴつで布にしるしを付ける。 ② 外側のしるしに沿って、たちばさみで布をたつ。</p>	<p>① 折り山で折って上下のしるしを合わせ、まち針でとめる。 ② 4cm ずつ重ねる。上下のしるしをぬう。</p>	
<p>仕上げ</p>	<p>作るときに注意すること</p>	
<p>表に返してアイロンをかけ、クッションを入れる。</p>	<p>入れるものがやわらかいので、ゆとりをあまり考えない。 布の厚さによって、ぬい目の大きさを変える。 返しぬいをして、ほつれないようにする。</p>	

ふり返ろう



目的に合った布作品の製作計画を立て、安全に製作できましたか。

【気づいたこと・考えたことなど】

ふくろのときとちがって、ゆとりの分量を考えなくてもよかったので、型紙の作り方がかんたんでした。重ねてぬわなければいけない理由がなかなか分からなかったが、友達に聞いてよく分かりました。布の選び方で、季節を感じる事ができるのがふしぎでした。

⑫ 思いを形にして 生活を豊かに 3 衣生活を楽しく豊かにしよう

学習のめあて せいさく 製作を通して学んだことを生かして、生活を豊かにする計画を立てよう。

活動5 深めよう

1 自分の作品について発表しましょう。

作った物	私は（ トートバッグ ）を作りました。
だれの・何のために	（ 自分 ）が（ 学校に持っていくとき ）に使うほしいと思って作りました。
<small>くふう</small> 工夫したところなど	（ 小物を入れるポケット ）を工夫しました。 <small>むずか</small> 難しかったところは（ 底にまちを付けたところ ）です。 気に入っているところは（ 好きな色を使ったところ ）です。

2 友達の作品について書きましょう。

	工夫してあるところ
（ ）さんの（ 体操服入れ ）	体操服を入れてから、口が閉められる大きさになっている。
（ ）さんの（ トートバッグ ）	持ち手を長くして、かたにかけられるようになっている。
（ ）さんの（ クッションカバー ）	冬に使うように、暖かい布を使っている。

3 1, 2を参考に、生活を豊かにするための布作品を提案しましょう。

私は、（ ）を提案します。

作る物	できあがり図
材料	
工夫するところ	

ふり返ろう ◎ ○ △

製作を通して学んだことを生かし、生活を豊かにする計画を立てることができましたか。

【気づいたこと・考えたことなど】

友達の作品を見て、工夫すると楽しくなったり使いやすくなったりすることが分かった。

既製のふくるなどを買うときに、ゆとりの分量や使いやすさなどを考えて買おうと思った。

友達の作品を見て、感想を書いてわたしましょう。



（ ）さんへ
トートバッグの持ち手を長くすると、かたにかけられることができるので、いい工夫だと思いました。
布を選ぶときに季節を感じられるものを選ぶと、使う楽しさが出てくると思いました。